

EPUB作成で使えたら嬉しいCSSプロパティ①

■文字サイズ単位 “rem” ※テストした中ではhontoが非対応

概要：文字サイズを親要素の影響なしで指定できる

見出しの一部の文字だけ小さくする場合などで相対値だと計算がめんどくさいので使いたい。

■border-radius ※テストした中ではBinBが非対応

概要：角丸表現

角丸はたとえ効かなくても可読性に問題が出ないことが多いのでもう使っている。

■@font-faceルール

概要：埋め込みフォントの指定

そろそろちゃんと使いたい。技術書でのコードの等幅フォント使用などデザイン面もさることながら、ハングルや中国語の人名など日本語フォントが字形情報を持っていない文字の表示をしたい場合に必要になる。現状全部外字画像化している。

■unicode-range 記述子

概要：特定のコードポイントの範囲に指定したフォントを自動適用

XHTMLファイル内でいちいちインラインのタグで括らなくても混植が可能になる。参考文献ページでキリル文字やハングル文字が多数入る場合などに。

EPUB作成で使えたら嬉しいCSSプロパティ②

■font-variant

概要：font-variant-east-asianでjis78字形、jis2004字形等への切り替えなど

人名／地名でOpentypeフォント内の特定の漢字の字形を出したい場合などに。外字画像化よりは筋がよい。ただ、Unicode IVSが使えるならそちらを使うべきとも思う。また、表示フォントが指定プロパティを有するOpenTypeフォントであることが前提になる。

■font-feature-settings

概要：OpenTypeフォント内プロパティの直接呼び出し

前述のjis78字形、jis2004字形の切り替えなども含むOpenTypeフォント内プロパティの直接呼び出し。内部プロパティを使った文字ツメ適用などにもできる。また、表示フォントが指定プロパティを有するOpenTypeフォントであることが前提になる。

■text-orientation

概要：縦書き時の文字の正立／横転指定

これが効かないのはいい加減困る。指定しても効かないと外字画像にせざるを得ない。